

令和元年度 かほく市立河北台中学校 学校評価中間報告書

重点目標	具体的取組	評価の観点	達成度判断基準		中間評価	備考 (R1県調査より)
			A:目標値 BCD:昨年前期との比較 ()内は昨年度前期の数値	達成度		
1 ★学力向上ロードマップに基づく確かな学力を持つ生徒の育成	① 河北台授業モデルによる「わかる授業・楽しい授業」づくりの推進	【努力指標】教職員 学習意欲を喚起する課題設定や授業づくりができています	A:100% B:±10%内(100%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	80% D	・学習意欲を喚起する授業ができていると答えた教員は減ったが、生徒はよく分かる、話し合い活動をしている割合は昨年度並みである。特に、話し合いを取り入れた授業づくりに心がけている教員が増えた。	発言の機会や話し合う場を設けている(92%)
		【努力指標】教職員 「話し合い」「まとめ」活動を取り入れた授業づくりができています	A:100% B:±10%内(87%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	95% B		
		【成果指標】生徒 授業の課題はよく分かる	A:95% B:±5%内(94%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	93% B		
		【成果指標】生徒 話し合い活動には積極的に参加している。	A:90% B:±5%内(84%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	87% B		
	② 授業における学習基盤の確立(ベル学、終始の挨拶、姿勢、挙手、話し方、聞き方、説明の仕方等)と家庭学習の習慣化を図る指導の工夫	【努力指標】教職員 授業において、しっかりした礼、返事、聴き方、大きな声などの学習規律を定着させている	A:100% B:±10%内(91%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	90% B	・授業規律においては、数値以上に改善傾向が見られる。特にベル学については、83%から91%に、話を最後まで聴いているが、89%から91%に上昇していた。これからも継続的にしっかりと指導していきたい。 ・家庭学習の定着のための手立てが弱い。家庭学習時間が不足している実態から、より指導に努めていかなければならない。	学習規律の指導をしている(99%) 家庭学習の方法を教えている(80%)
		【成果指標】生徒 授業では、しっかりしたあいさつ、姿勢、聴き方などを心がけている	A:90% B:±5%内(88%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	89% B		
		【努力指標】教職員 生徒の家庭学習の定着及び充実に向けた具体的な方策を講じている	A:100% B:±10%内(87%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	68% C		
		【成果指標】生徒 自分で計画を立てて勉強している	A:75% B:±5%内(76%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	73% B		
		【満足度指標】保護者 お子様は、自分で計画を立てて勉強している	A:70% B:±5%内(58%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	63% B		
	③ 基礎的・基本的な内容の定着と活用力(思考力、判断力、表現力)の向上を図る指導の工夫	【努力指標】教職員 各種テストの分析に基づき、学力補充や授業改善などの方策を講じている	A:100% B:±10%内(83%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	68% D	・調査時点では、まだ十分に行っていない様子が見られる。夏休みに行った教科ヒアリングで確認した学習指導の徹底を図っていかなければならない。	
		【成果指標】生徒 授業がわかりやすい	A:95% B:±5%内(92%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	92% B		
		【成果指標】生徒 授業では、「自分と同じ(違う)」「なぜだろう?」「その根拠は?」など考えながら聴いている	A:80% B:±5%内(74%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	78% B		
④ 校内研修会の充実(講師を招聘した授業研究の実践)	【満足度指標】教職員 充実した校内研修会ができています	A:100% B:90%以上 C:85%以上 D:85%未満	100% A	・授業づくりのための研修会が活かされている。		
2 道徳教育や体験活動等を通じた豊かな心を持つ生徒の育成	① ★道徳教育や人権教育の推進(「特別な教科 道徳」授業の充実)	【努力指標】教職員 道徳の授業を確保し、道徳心や人権意識など心の教育に努力している	A:100% B:±10%内(94%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	100% A	・道徳の教科化が始まったが、これまで同様に取り組んでいる。より子どもに染み入る授業づくりに努めていきたい。	
		【満足度指標】生徒 道徳の時間で自分の日頃の考え方や行動を振り返ることができている	A:90% B:±5%内(88%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	87% B		
	② 職場体験など体験活動と進路指導(キャリア教育)の充実(将来の夢と三年間の見通し)	【努力指標】教職員 体験活動が豊かになるように取り組んでいる	A:100% B:90%以上 C:85%以上 D:85%未満	100% A	・修学旅行など、体験活動に充実感がある。このことが、将来の夢や目標づくりの一助になるような工夫に努めていかなければならない。	
		【満足度指標】生徒 将来の夢や目標を持っている	A:80% B:±5%内(74%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	73% B		
		【満足度指標】保護者 お子様は、将来の夢や目標を持っている	A:70% B:±5%内(63%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	61% B		
		【満足度指標】生徒 自分には良いところがあると思う	A:80% B:±5%内(74%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	74% B		
	③ 生徒会活動の活性化及び日常的ボランティア活動の推進	【努力指標】教職員 生徒にボランティア活動の積極的な参加を促すなどの推進に努めている	A:100% B:±10%内(78%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	88% B	・「さわやかカード」の取組など、自己肯定感をまだまだ高めていくための手立てに努めていかなければならない。 ・ボランティア精神が多くの生徒に身に付いている。大切にしていきたい。	

令和元年度 かほく市立河北台中学校 学校評価中間報告書

重点目標	具体的取組	評価の観点	達成度判断基準		中間評価	備考 (R1県調査より)	
			A:目標値 BCD:昨年前期との比較 ()内は昨年度前期の数値	達成度			
		【成果指標】生徒 委員会活動(生徒会)や 学級活動に積極的に参 加している	A:90% B:±5%内(84%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	82% B			
	④ 読書活動の推進(図書館 司書との連携、図書ボラ ンティアの活用)	【努力指標】教職員 読書の充実・図書館の活 用に努力している	A:100% B:±10%内(83%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	84% B	・読書への親しみは、個人差が大き く見られ、全体的にも決して高くない。 小学校との連携をより図って いきたい。		
		【成果指標】生徒 様々な機会を通してでき るだけ本に親しんでいる	A:80% B:±5%内(73%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	71% B			
		【満足度指標】保護者 お子様は、読書に親しん でいる	A:60% B:±5%内(48%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	46% B			
3	★心身とも健康で ある生徒の育成	① 食に関する指導の推進	【努力指標】教職員 食育に関する指導・啓発 に努めている	A:100% B:±10%内(100%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	94% B	・食に関しては、昨年度並みであ る。朝食を毎日食べていると答 えていない生徒への支援を関係機 関と共に考えていかなければなら ない。	
		【成果指標】生徒 朝食を毎日食べている	A:95% B:±5%内(94%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	94% B			
		【成果指標】生徒 給食は残さず全部食べ ている	A:95% B:±5%内(89%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	89% B			
		【成果指標】保護者 お子様は、朝食を毎日食 べている	A:95% B:±5%内(93%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	94% B			
		② たくましい心を育成する 部活動の活性化と体力、 運動能力の向上のため の取組推進	【努力指標】教職員 部活動で生徒は意欲を 高め、充実した活動に取り 組んでいる	A:100% B:±10%内(100%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	95% B	・多くの部員が頑張っている様子 が伺えるが、そうではない部員への ケアが必要と思われる。	
		【成果指標】生徒 部活動や校外活動に高 い目標をもって意欲的に 取り組んでいる	A:95% B:±5%内(87%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	89% B			
		【成果指標】保護者 お子様は、部活動や校 外活動に進んで参加して いる	A:95% B:±5%内(91%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	91% B			
		【成果指標】生徒 体力テストのA及びBラン クの割合	A:70% B:±5%内(55%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	—			
4	★積極的生徒指 導のより一層の推 進	① 生徒指導の三機能を生 かした積極的な生徒指導 の推進 →学校生活のあらゆる場 面で三機能を生かした取 組の創意工夫 →人間関係づくりを基盤 とした学級経営の充実 (構成的グループエンカ ウンターの授業実践、Q U調査も含めた生徒理 解、存在感を高める集団 づくり) →いじめ、不登校対策の 充実(未然防止、早期発 見と早期対応、各種調査 の実施と迅速な対応、 「いじめ対応マニュアル」 に基づく対策と対応の推 進)	【努力指標】教職員 生徒理解を大切にし、生 徒との信頼関係の構築が できている	A:100% B:±10%内(96%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	90% B	・教員は生徒との信頼関係の構築 ができ、生徒もそう答えている様子 が伺えるが、そうではないと答 えている生徒との関わりがより大切と思 われる。保護者ともよく連携し、信 頼関係の構築に努めていかなけれ ばならない。	
		【満足度指標】生徒 自分の思いや悩みを聞 いてくれる友だちや先生 がいる	A:95% B:±5%内(86%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	89% B			
		【満足度指標】保護者 学校は、お子様をよく理 解し、指導している	A:90% B:±5%内(80%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	77% B			
		【努力指標】教職員 不登校生徒等の個別の 支援計画に基づいた指 導を行っている	A:100% B:±10%内(100%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	90% B			
		【努力指標】教職員 生徒の「あいさつ」などの 基本的生活習慣の定着 を図るための取り組みに 参加している	A:100% B:±10%内(94%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	100% A	・学校生活のきまりを多くの生徒が 守っていると答えているものの、保 護者からはまだまだ低い。地域や 保護者とも連携して、校外での様 子など情報共有していきたい。		
		【成果指標】生徒 河北台中のきまり(校則) を守っている	A:100% B:±5%内(97%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	96% B			
		【満足度指標】保護者 お子様は、学校のきまり を守っている	A:100% B:±5%内(92%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	89% B			
		【努力指標】教職員 問題発生時、関係職員 への「報・連・相」など組 織的かつ迅速な対応をし ている	A:100% B:±10%内(100%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	100% A		・何かあった時、即連絡が入る体制 が出来上がっている。今後、生徒 の安全を守るための取組が十分 ではないと答えた職員が一人もい ないようにしていかなければなら ない。	

令和元年度 かほく市立河北台中学校 学校評価中間報告書

重点目標	具体的取組	評価の観点	達成度判断基準	達成度	中間評価	備考 (R1県調査より)
			A:目標値 BCD:昨年前期との比較 ()内は昨年度前期の数値			
		【満足度指標】保護者 学校は、危機管理や健康安全に留意し、生徒の安全を守るための取組を行っている	A:95% B:±5%内(86%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	86% B		
	② 小学校との積極的な連携 (授業・部活動体験、出前授業、学校訪問など)	【満足度指標】教職員 小中連携の内容が充実している	A:100% B:90%以上 C:85%以上 D:85%未満	78% C	・現在、小中連携の取組を精査中である。効果的な内容にしていきたい。	
	③ 教育相談体制の充実 →支援が必要な生徒、不登校生徒への具体的な対策と実践(個別記録の積み重ね) →スクールカウンセラー、心の教育相談員など関係機関との連携	【努力指標】教職員 不登校生徒等の個別の支援計画に基づいた指導を行っている	A:100% B:±10%内(100%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	90% B	・職員の情報共有をより充実させ、多くの職員が指導支援していかなければならない。また、スクールカウンセラーや心の相談員との連携をより一層図りながら進めていきたい。	
5 特別に支援が必要な生徒への指導の充実(特別支援教育の充実)	① 支援が必要な生徒の共通理解と指導及び保護者との連携の強化	【努力指標】教職員 生徒理解研修会などをもとに支援が必要な生徒と適切に関わった	A:100% B:±10%内(96%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	95% B	・今後も、特別に支援が必要な生徒との関わりを大切にし、その子に応じた支援に努めていかなければならない。	
		【努力指標】教職員 保護者の協力が得られるよう家庭との連絡等の情報交換は確実にしている	A:100% B:±10%内(100%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	94% B		
	② コーディネーターを中心とした研修体制の充実と地域支援室や巡回相談など関係機関との連携	【努力指標】教職員 生徒の障害の程度やつまずきに応じた適切な関わり方ができている	A:100% B:±10%内(100%) C:15%以上の低下 D:20%以上の低下	95% B	・地域支援室やすまいるなど、専門的な関係機関との連携を強めていきたい。	
【努力指標】教職員 地域支援室など関係機関が有効活用されている	A:100% B:90%以上 C:85%以上 D:85%未満	88% C				
6 開かれた学校づくりと働き方改革	① コミュニティ・スクール制度の積極的な活用	【満足度指標】教職員 コミュニティ・スクール制度が有効活用されている	A:100% B:90%以上 C:85%以上 D:85%未満	88% C	・まだまだ周知しきれていない様子が伺える。アナウンスしていきたい。	
		② 学校便りやホームページ等を通しての積極的な情報発信	【成果指標】生徒 学校からの各種「〇〇たより」などの配布物は、確実に家の人に渡している	A:90% B:±5%内(86%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	85% B	・15%の生徒が学校の配布物を渡していないと答えている。その分、ホームページでも補い、連絡用ファイルを活用しているが、保護者ともっと連携して確実に伝わるようにしていきたい。また、内容もタイムリーなものを充実させていきたい。
	【成果指標】保護者 学校だよりや学年だより、ホームページ等で、学校の指導方針や子どもたちの様子などがわかりやすく伝わっている	A:95% B:±5%内(95%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	91% B			
	【満足度指標】保護者 学校における、いじめの未然防止や早期発見のための取組が伝わってくる	A:80% B:±5%内(69%) C:5%以上の低下 D:10%以上の低下	60% C			
③ ★教職員の働き方改革推進	【成果指標】教職員 勤務時間外時間の比較	A:月80時間以上ゼロ B:H29より20%以上減 又は H30より10%以上減 C:H29より10%以上減 又は H30より5%以上減 D:C基準未満	B	・昨年度並みの結果である。新しい職員が半分近く入ってきたわりには、ほとんど増えることはなかった。ただ、個人差が大きいことから、業務分担の見直しを図っていくことが急務である。 ※実際の時間外勤務平均時間 4～7月の平均 R1 H30 H29 76.7 ← 76.4 ← 99.1 H29より22.6%減 H30より0.4%増		